# **Phonak**

# テレビコネクターD 設定方法

Ver. 3

テレビコネクターD はテレビや音楽機器と接続させて補聴器に直接音声を送信することができるワイヤレスアクセサリーです。 使用する前に、補聴器とペアリングしておく必要があります。

#### ❖ テレビコネクターD 同梱物



- 1. テレビコネクターD 本体
- 2. 光デジタル音声出力用ケーブル (最初から本体に取り付けられています)
- 3. ヘッドフォン端子用
  3.5mm オーディオジャックケーブル
- 4. 電源プラグ
- 5. USB-マイクロ USB ケーブル
- 6. 固定用マジックテープ
- 7. 取扱説明書
- 8. クイックガイド
- 9. 保証書

#### ❖ テレビコネクターD 各部名称



- a. 音量調節ボタン (大)
- b. 音量調節ボタン (小)
- c. 電源ボタン(長押しタップ)
- d. 状態表示ライト (LED)
- e. 接続ボタン
- f. マイクロ USB ソケット(電源)
- g. 音声入力端子(デジタル/アナログ)



#### ❖ テレビコネクターD の準備

テレビコネクターDとお使いのテレビの準備を行います。お使いのテレビによって、接続方法・設定方法・表示方法が異なります。 テレビの取り扱いに関しては、テレビの取扱説明書およびメーカーへお問い合わせください。





## ❖ テレビコネクターD LED ランプ表示

LED ランプ 表示パターン				
電源オン/音声信号を送信中 (通常使用)	電源オン/スタンバイモード (音声信号を待機中)	接続処理中 (例:接続ボタンを押した際)	リセット	誤った音声信号
		000		

### ❖ テレビコネクターD タップ式操作

テレビコネクターD の電源ボタン・音量調節ボタンはタップして操作します。



## ❖ テレビコネクターD と補聴器とのペアリング

初めてテレビコネクターD の電源を入れると自動的にペアリングモードが作動するので補聴器を 1m 以内に近づければペアリングすることができます。

2 回目以降にペアリングする際は、電源をオンにし、接続ボタンを押してペアリングモードにしてからペアリング作業を行ってください。

### (2回目以降) テレビコネクターD とのペアリング方法

1



- テレビコネクターD から 1m 以内に補聴器を近づけます。
- テレビコネクターDの電源ボタンを電源をオンにします。

2

3



- テレビコネクターD の接続ボタンを短押しして、ペアリングモード (青い点滅)にさせます。
- 補聴器とテレビコネクターD が正しくペアリングされると、補聴器 からペアリング成功のビープ音が聞こえます。(5 ビープ連続上昇 \_\_\_\_\_\_\_)

ペアリング成功のビープ音が提示された後、入力音声の有無によって次にように動作が異なります。

## 【(テレビの)入力音声がある場合】

▶ テレビコネクターDのプログラム切替が「オートマチック」に設定している ペアリング成功のビープ音が聞こえると、直ぐにテレビの音声が聞こえ始めます。 その後も、テレビの電源がオンで、受信可能距離にいれば自動的にテレビの音声が聞こえ始めます。

テレビコネクターD のプログラム切替が「マニュアル」に設定している

ペアリング成功のビープ音が聞こえた後、補聴器からはビープ音は聞こえません。補聴器の多機能ボタン/プログラムスイッチから手動でテレビコネクターDのプログラムに切り替えることでテレビ音声を聞くことが可能です。プログラム構成の一番最後にテレビコネクターDのプログラムが追加されます。

▶ テレビコネクターD のプログラム切替が「マニュアル(ビープ音あり)」に設定している

ペアリング成功のビープ音が聞こえると、テレビコネクターD が利用可能状態であることを意味するビープ音が補聴器から聞こえます(2 ビープ連続下降 )。ビープ音が鳴っている間(約 15 秒)に多機能ボタン/プログラムスイッチを押すと、テレビコネクターD のプログラムへ切り替わます。

#### 【(テレビの)入力音声がない場合】

- ペアリング成功のビープ音が聞こえると、直ぐに別のビープ音♪が聞こえます(3 ビープ連続上昇 これはテレビコネクターD の電源はオンだけど、テレビからの音声入力は無いということを意味します。
- ※ このビープ音はテレビコネクターDの接続ボタンを押してペアリングした際に、入力音声がない場合にのみ提示されます。

#### ❖ テレビコネクターDと補聴器のペアリング解除

テレビコネクターD の接続ボタンを約7 秒間押し続けると、表示ランプが約2 秒間に橙色に点灯します。 再度テレビコネクターD と補聴器の接続を行う場合は、上記表の1~3 を繰り返します。

